

# 福岡県立大学大学院 看護学研究科

看護学専攻 修士課程



GRADUATE SCHOOL OF NURSING 2023  
FUKUOKA PREFECTURAL UNIVERSITY



看護学研究科は、  
看護学部と福祉系の人間社会学部が  
併設されている点を最大限活かし、  
地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する  
中核的な担い手である高度専門職業人としての  
看護職者や研究者・教育者を養成することを旨とし、  
設置されました。

#### 本研究科が求める人

##### 1. 看護学を研究するための基本的知識・技法を有している。

- (1) 看護学の基礎的知識を有している。
- (2) 専門分野に関心と問題意識を有している。
- (3) 専門分野の知識を基に研究の見通しを立てることができる。
- (4) 専門分野における国内外の論文の基礎的な読解力を有している。

##### 2. 専門知識・技法を用いて、主体的に課題を解決し社会に貢献できる 資質を有している。

- (1) 看護学に関する未知の課題を主体的に解決できる資質を有している。
- (2) 専門性を高め、社会に貢献したいという熱意と意欲を有している。

##### 3. 学習を深めるための基礎的能力を有している。

- (1) 学習を深めるために必要な基礎的教養(学力)を有している。
- (2) 課題解決に必要な柔軟な発想と思考を備えディスカッションを深めることができる。
- (3) 専門知識を用いて自分の考えを論理的に説明できる。

## 学長メッセージ



大学院における学びは、既存の理論知や他者の経験知との照らし合わせや自身の内省を通じた未知の課題発見およびその解決を目指して、専門職業人として培った価値観や経験知を再考し、その再検証によって、新たな知を創造することにあります。本学大学院看護学研究科においては、少子高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築とそれに対応した技術革新が求められる現在、その変革を担う、第一線の研究者、高度専門職業人の育成を目指しています。

当看護学研究科には、研究コース、専門看護師コース(現在募集停止中)、助産実践形成コースの3コースがあります。仕事を続けながら修学する環境を整備していますので、それぞれのコースにおいて、実践の中で抱いた問題意識を学修に反映させ、修得したことを実践に反映させるという有機的な課題連携学習を深めていきます。在学中は言うまでもなく、入学に際しての支援から修了後のリカレント研修まで支援体制が充実しています。また、授業においては、国内の著名な講師陣も加わり、わが国の保健医療福祉界の専門的な知識を教授しますので、現代社会の諸課題に対応できるよう実践科学、研究について学修できます。今後の我が国の看護科学を担えるよう、価値ある研究を行ってほしいと思います。

人々の健康と自己実現に寄与すべくより専門性を高めたいと願っている、探究心とチャレンジ精神にあふれた人、是非当看護学研究科の門戸を叩いてください。福岡県立大学大学院看護学研究科の教員は、全力で皆さん方の夢の実現を応援します。

理事長・学長 柴田 洋三郎  
Yosaburo Shibata

## 看護学研究科長メッセージ



看護学専攻では、看護学の基礎的理論や研究法、ならびに関連諸科学の理論や技法を学び、看護学を探究します。さらに、学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や生活者の健康上の課題の解決につながる研究活動に取り組みます。

このような課程を経て、さまざまな課題解決や提案に取り組める研究・教育者、そして多職種のなかで協働できる高度専門職業人としての看護職者の育成をめざしています。

社会人が学びやすいように長期履修制度や夜間・土日に開講する授業、メディア授業の形態を取り入れた学修環境を整えて、皆様をお待ちしています。

看護学部 学部長/大学院 看護学研究科長 江上 千代美 教授  
Chiyomi Egami



# 看護学研究科

## 教育目的

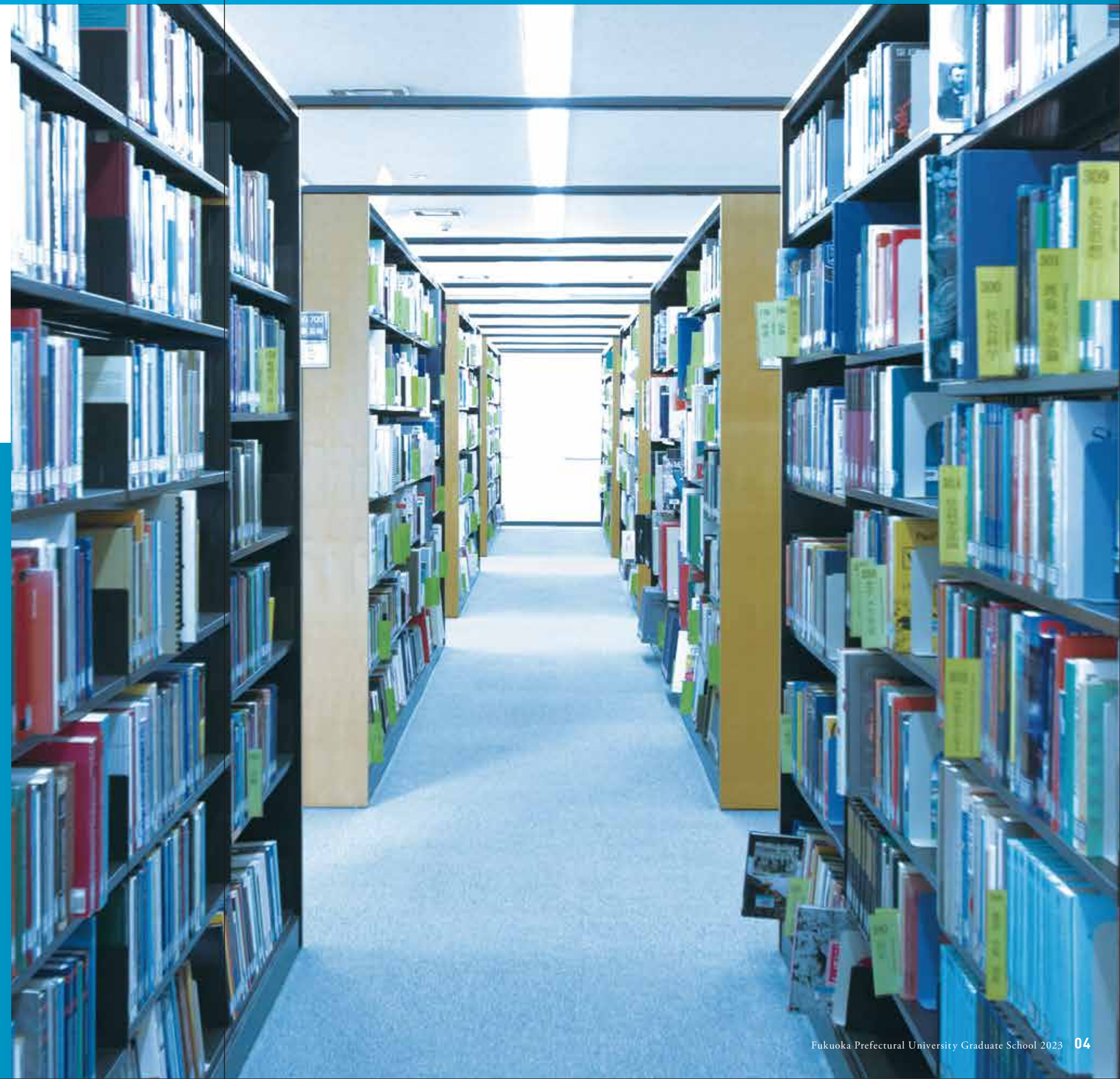
地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成する

## 看護学研究科の特徴

人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる高度看護専門職者を育成します。

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的な担い手である高度専門職業人としての看護職者や、研究者・教育者を養成し、社会で活躍するリーダーの育成を目指しています。そのため、現職の課題を本研究科において、教授陣と共に検討し、課題解決のための方策を導き出すための支援を行います。

- 1 | 看護学研究科は、研究者養成と実践者養成からなります。
- 2 | 実践者養成では、老年看護と精神看護の2つの専門看護師コース(現在募集停止中)、助産実践形成コースがあります。大学院教育により、保健・医療・福祉社会での役割を担うことができる実践能力をもった人材の育成を目指します。
- 3 | 学士の学位は有していないが、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた人は受験資格があります。
- 4 | 2年間の修士課程の授業料で3年間在学して単位が取得できる制度として、看護職等医療職の方が在職したままキャリアアップできるように、長期履修制度を設けています。
- 5 | 働きながら学ぶ方のニーズにも対応できるように、夜間・土日に開講する授業、メディア授業の形態を取り入れた学修環境を整えています。





# 研究コース

研究コースでは臨床看護や看護教育を、根拠をもって行うことにつながる基礎的な研究や、看護学や看護教育学の発展につながる研究を行う能力を培い、医療機関等や教育機関あるいは行政機関で、組織の管理者や教育者として看護の質の向上や看護教育の質の向上に寄与しうる人材の育成を目指しています。



## 教員からのMessage



看護教育学・助産学  
石田 智恵美 教授

### 疑問？を改善！につなげよう

臨床の看護実践の中で、看護師教育・患者教育・学生の教育を行うときに、また、教育現場で教育実践を行っている中で、疑問に思ったこと、改善したいと思ったこと、学びたいと思ったことはありませんか？

研究コースでは、このような課題の解決を研究的に取り組むことを通して、主体的に看護の質向上のための実践や教育実践ができる人材の育成を目指しています。貴方の持っている力を、本学の大学院で是非開花させてください。教育者の関わりは学習者の学びに影響を与えます。教育者自身が学ぶことが、学習者の学びを広げ、深めることに繋がるのです。

## 【研究コース】修士論文テーマ一覧

論文名
地域で生活する精神障がい者が希望を語ってもよいと思えた精神科訪問看護師の関わり
手術室で行われている新人看護師教育の実態に関する研究
糖尿病患者のセルフマネジメント能力を高めるCDE看護師の看護実践についての検討 —CDE看護師の看護実践の実態調査から—
終末期がん患者の在宅移行期における退院前カンファレンスの在り方の検討 ～退院調整看護師と訪問看護師の協働活動に焦点をあてて～
歩ける医療的ケア児の母親の子育てにおける適応していくプロセスの検討
精神科における看護師の倫理的葛藤についての検討
三次救急医療機関におけるせん妄予防に向けた実態調査 —福岡県内を対象として—
精神科機能別病棟に見た感情労働の特徴 —A病院の病棟看護師を対象に—
看護基礎教育課程における看護大学生のレジリエンスに関連する要因の検討

## 在学生からのMessage



### 看護の原点に触れ、看護の奥深さを実感しています

田原 千晶さん

福岡県立大学 看護学部 助手 M1(長期履修生)

臨床で約10年小児看護に携わり、在宅で療養している子ども達に関心をもちました。その後、大学教員として5年の期間を経て大学院への進学を決めました。研究においては臨床での経験を活かし、在宅で療養している子ども達の支援に関する研究に取り組んでいます。授業では、看護の理論家の思想(看護の原点)に触れ、これまで自身が行ってきた看護の意味付けができ、看護の奥深さを感じています。進学当初は仕事と学業の両立に懸念がありましたが、家族の協力のもと授業に参加でき、家族の絆や力を再認識し、前向きに学びに向かえており充実した日々を送っています。



### 知見の広がりや学ぶ楽しさを実感しています

満島 杏子さん

自衛隊福岡病院 看護師 M1

私は、これまでの病院・部隊勤務、災害派遣及び准看護師養成における教員の経験などのなかで、大変多くの事を学ばせていただきました。今後、自身のキャリアアップや組織貢献を考えた時に、研究や教育について更に学びを深めたいと思い、職場の支援もいただき大学院進学を決意しました。日々の講義、先生方や世代を越えた仲間とのディスカッションで、知見の広がりや学ぶ楽しさを実感しています。子育てと学業の両立に不安もありましたが、オンライン授業の活用により充実した学習環境を提供していただいています。



### 新たな視点や考え方を学ぶことができます

矢鳴 千愛さん

福岡県立大学 不登校・ひきこもりサポートセンター 指導員 M2

私は学生時代にボランティア活動と学業に力を入れ、養護教諭一種免許を取得し、昨年本学を卒業しました。特に本学にある不登校・ひきこもりサポートセンターでのボランティア活動を通して「不登校支援」について改めて学びたいと思い、大学院への進学を決めました。講義の中で先生方や同級生とディスカッションを行うことによって、新たな視点や考え方を学ぶことができます。先生方や同級生に支えられながら仕事と学業の両立ができ、充実した日々を過ごしています。



### やれるかどうかじゃない、やるかどうか

深町 由華里さん

久留米大学病院 高度救命救急センター 看護師 M3(長期履修生)

私は久留米大学病院 高度救命救急センターで看護師として働いています。4歳と9歳の育児をしており、大学院進学を決断するまでに数年かかりました。しかし、「やれるかどうかじゃない、やるかどうかだ!」と自ら奮起し、進学を決意しました。先生方は、仕事の合間に講義を予定してくださったり、オンライン講義に変更してくださったりと、私の立場を理解してくださり、様々な調整をしてくださいました。長期履修制度もあり、家族の協力のもと、楽しみながら学ぶことができます。

教授 永嶋 由理子(看護心理学)  
 教授 石田 智恵美(看護教育学)  
 教授 江上 千代美(実験看護学)

▶ 基礎看護学

基礎看護学分野では、看護の基盤となる看護の主要概念について多様な観点から検討し、理解を深めていきます。また、理論に基づく効果的な看護技術教育について、看護技術の教育実践を分析する方法と学生の力を引き出し高める教育方法を探究します。さらに、従来用いられている看護技術の根拠について、実験的手法を用いて検証する方法や、効果的な看護技術の開発を推進する能力を修得します。

▶ 看護心理学

看護心理学では、心理学を基軸として看護学を論理的・科学的に探究していく理論と方法を修得します。特に、看護技術の熟達化や看護学生・看護職の内的特性や変化について学修していきます。看護技術の熟達化については、ペナール看護論や心理学的視点から議論を重ね理解を深めていきます。また看護学生や看護職の内的特性や変化を自己効力感や達成動機、レジリエンス、職業的アイデンティなどの視点から研究的に解明していく理論と方法を修得します。

▶ 看護教育学

患者教育・看護師教育・学生教育・自己教育など、看護に関わる教授＝学習過程に共通する教育理論や方法論について修得し、その根底にある教育哲学について学修します。看護教育を実践・研究することのできる人材を育成することを目的としています。修了生は、各大学の教員として臨床の教育者として活躍しています。

▶ 実験看護学

実験看護学では、形態機能学と生理学に基づいた根拠あるケアを論理的・科学的に探究する理論と方法を学びます。さらに現在健康課題や社会問題となっている看護を取り巻く事象について取り組まれている看護実践の有用性について、実験手法を用いて検証を行います。

教授 尾形 由起子(地域看護学)  
 教授 松浦 賢長(思春期ヘルスプロモーション)  
 教授 波止 千恵(在宅看護学)

▶ 地域看護学

わが国の喫緊の課題である在宅医療や在宅療養の支援と支援システムを研究課題とする研究を進めています。これまで、子育ての社会化(ソーシャル・キャピタルの視点)、地域に住む中年期男性統合失調症患者と老親の支援、在宅で療養する神経難病患者の支援ネットワーク形成に係る保健師の調整技術、末期がん患者の在宅ケアシステム構築に係る連携、2型糖尿病患者の看護等について保健師の視点で研究を行っています。

▶ 思春期ヘルスプロモーション

思春期の母子保健、学校保健、思春期保健を対象とする中、特に性的問題や精神疾患・発達障害等の研究に力を入れています。課題背景となる家族問題や虐待、不登校・ひきこもりについては実践に即した社会的な支援の仕組みのあり方を探究します。妊娠期から乳幼児期・児童期・思春期に至る過程の課題、すなわち母子保健と学校保健については政策・施策を踏まえた研究課題を設定していきます。

▶ 在宅看護学

在宅看護学分野では、地域で暮らす人々が安心・安全な療養生活を継続できるための看護の実践を探究しています。高度な看護技術のみならず、暮らしから看護課題をとらえ自助・互助を視野にいた多職種連携などチームアプローチの視点から研究を進めています。

教授 福田 和美(成人看護学)  
 教授 村方 多鶴子(精神看護学)

▶ 小児看護学

子どもの最善の利益を守ることを基本理念に、乳児期から思春期発達段階の子どもの健康時、急性・慢性・ターミナル期、障がい、在宅などあらゆる健康段階や状況における成長発達や生活環境を理解し、その子らしく家族とともに生活できるよう、生活の質向上や健康増進のための実践と研究方法について意見交換しながら探求します。

▶ 成人看護学

成人期にある患者(家族)を生活者の視点、ライフサイクルの視点、健康レベルの視点でとらえ、患者の生命及び患者(家族)のQOLの向上に寄与する実践、研究を追求します。地域包括ケアに対応できる看護職者が求められている現在、臨床での看護を基礎とし、成人期にある患者(家族)の身体・心理・社会的側面に関わる諸課題を探究する能力、理論・看護の概念モデルを用いた看護を実践する能力を備えた人材の育成を目指します。

▶ 老年看護学

在宅・施設および医療機関というあらゆる場における様々な健康課題を持つ高齢者とその家族に対する教育や援助のためのアセスメントツール、倫理的課題解決の方法、対象者をとりまくケアシステム構築のプロセスやチームアプローチの方法、専門的看護の方法を経験や事例をもとに検討できる能力を修得します。

▶ 精神看護学

精神看護学では、子どもから高齢者まで幅広い方を対象としています。そのため、既存の理論やモデルを用いて、それぞれの発達段階におけるメンタルヘルスについて学習します。また、精神科病院内の看護に限らず、地域・在宅を含めた幅広い領域で課題を見つけ、その課題を探究し、研究につなげていく能力を修得します。

教授 石田 智恵美(助産学)

▶ 助産学

助産学研究コースは、助産に関連する課題を主体的に探究する能力を持ち、助産学領域における新たな知見を見出すことのできる研究能力の習得を目指します。将来は、その研究能力を臨床や教育分野で発揮し、さらに活動領域を広げていくこともできます。

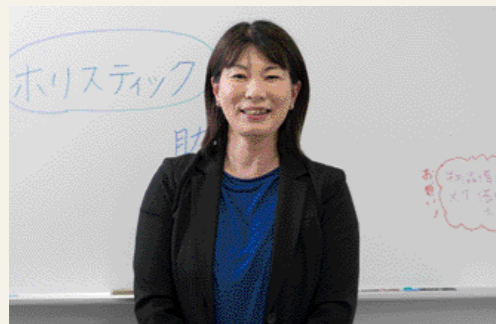


## 助産実践形成コース

助産実践形成コースは、周産期の様々な課題に対応するため高度で自律した助産実践能力を身につけた助産師の育成を目指すコースであり、助産師国家試験受験資格を取得することができます。また規定の科目を習得することで、受胎調節地指導員申請資格・新生児蘇生法「専門」コース認定申請資格も取得することができます。



## 教員からのMessage



助産学

石村 美由紀 准教授

## 助産学を探究し、助産師の魅力を存分に感じてください

助産実践形成コースは、ホリスティック(全人的)な人間理解を基盤に、助産実践能力の強化を図るとともに研究能力を合わせ持つ人材の育成を目指します。周産期のみならず、一生を通じて、女性とその家族が抱える様々な課題に対処できる実践能力を備えた自律した助産師にあなたもなりません。助産学は学べば学ぶほど奥が深く、助産師は本当に素晴らしい職業です。本研究科では、教員と学生が妊婦教室「マタニティサロン」を運営し、妊娠・出産・育児期にある女性とその家族に対する支援を実際に行います。また団結力のある教員が積極的に行う性教育、母乳育児支援、不妊支援などにも参加でき、助産実践能力を確実なものにしていきます。実習施設に多くの卒業生を輩出しており、先輩から後輩へ、助産哲学がしっかりと受け継がれることも魅力です。是非、この魅力あふれる世界の扉を開いてみてください。

## 助産実践形成コース履修モデル

専門必修科目:6単位 共通選択科目:8単位以上

助産学専門科目:47単位

- 基礎助産学特論・演習
- 助産学特論・演習
- ホリスティック助産学特論・演習
- 助産実践学I~IV【妊娠期・分娩期・産褥・新生児期・ハイリスクケア】
- マネジメント助産学特論
- コミュニティ助産学特論・演習
- 助産学実習I~V

※修了には61単位以上が必要です

## 修了生からのMessage

社会保険田川病院  
助産師

山村 恭葉さん

助産実践形成コース 2020年3月修了

## 助産哲学に基づくケアを学ぶことができました

私は、女性に寄り添ったケアのできる助産師になりたいと思い、大学院に進学しました。在学中の2年間で、助産哲学に基づくケアについて学び、身に付けることができました。昨年度、助産師として就職しました。母子だけでなく、たくさんの女性と関わらせていただく中で、在学中に培ってきた知識や技術が、臨床現場の実践ケアに繋がっていると実感しています。この大学院で学んだことを、大切にしながら今後助産師として成長できるよう日々精進したいです。



演習を繰り返し生まれる教員・学生間の絆



新生児ケアの演習風景



ホリスティック助産学演習風景(重ね煮の調理実習)



フィールドワーク(安産祈願で多くの妊婦が訪れる宇美八幡宮)



講義風景(少人数に丁寧に)

## 在学生からのMessage

## 女性とその家族の人生に寄り添える助産師を目指して



小林 香華さん

M1(助産実践形成コース)

助産師は様々な過程にある女性とその家族の人生に関わることができ、ホリスティックに対象者を捉えることが必要になります。その点で福岡県立大学の大学院では、助産師としての基礎的な知識や実践能力を学ぶのみでなく、ホリスティックな人間理解を基盤とした学びが深められるところが魅力だと感じています。また助産学に対して熱心な先生方に親身になってご指導を頂けることも、福岡県立大学の大学院の魅力です。加えて、大学院の授業では学生が主体的に学ぶことのできる環境が整っており、同じ助産師を目指す仲間と支え合いながら毎日充実した日々を送ることができています。これからも幅広い知識を持ちながら、女性とその家族に寄り添い、様々な選択肢を提案することのできる助産師になれるよう、日々努力していきます。

## 多角的な視野で寄り添う助産師を目指して



瀬戸脇 実李さん

M2(助産実践形成コース)

私が助産師を目指すきっかけとなったのは、高校生の時に受けた助産師による講話(性教育や命の大切さについて)です。助産師は、母親と子の2つの命を守る責任があり、さらに全人的に女性を捉えていくことも求められると思います。福岡県立大学大学院では、専門的な知識や技術に加え、他大学にはない「ホリスティック(全人的)」という視点で助産学を学びます。そのため女性に寄り添った助産師を目指すことができると考えます。また、ともに助産師を目指す仲間と主体的な講義や実技習得をすること、親身に寄り添って頂ける先生方によって、楽しく、充実した大学院生活を送ることができます。今後も自己研鑽し、助産師を目指していきたいです。



# 看護学研究科の 修了生の今

2007年4月に本研究科は開講してから、修了生は113名に達しており、臨床・教育現場の第一線で活躍しています。



広島市立広島市民病院 未熟児センター NICU 看護師・助産師

大田 梨愛さん

助産実践形成コース 2021年3月修了

## 一つ一つの家族に幸せな出産を届けたい

母子の愛着に興味を持ち、ひとつひとつの家族に幸せな出産を届けたいという思いで助産師を目指し、大学院に進学しました。大学院ではホリスティックについて深く学んだことが印象的で、母子が生まれながらに持つ力を最大限に引き出せるようにかかわることが大切だと強く感じるようになりました。現在はNICUで看護師として勤務しており、頑張って成長していく新生児の姿に日々感動し癒されています。大学院で学んだことを大切にしながら、これからも未熟児とその家族にとって最善の看護を追求していきたいと思っています。



福岡県立大学 看護学部 助教

道園 亜希さん

研究コース(助産学) 2016年3月修了

## 助産の教育者を目指して

本大学助産学課程の卒業生です。助産師として勤務していた頃、恩師から産休代替の非常勤助手を勧められ、勤務しながら本大学大学院看護学研究科へ進学、そして本大学で助教として学生に関わっています。教育は難しさもありますが、学生と共に自分も成長できる喜びを感じています。また、自分の専門分野である「思春期の性の健康」に関する研究を深め、それを社会貢献活動につなげられることに大きなやりがいを感じています。今はライフワークバランスもとれ、充実した毎日を過ごしています。



日本赤十字広島看護大学 応用看護学領域 精神看護学 助教

恵良 友彦さん

研究コース(精神看護学) 2020年3月修了

## アロマを活用した精神看護研究に対する視野を広げるために

本大学を卒業後、地元の精神科病院で働いている中で補完代替療法に興味を持ち、特にアロマセラピーを精神看護で活かすことはできないか研究したいと考え、進学を決意しました。大学院では先生方と様々なディスカッションを通して、研究課題を深めながら積極的に取り組むことができました。また、院生同士や修了生の方との交流もあり、意見交換を通して自分の視野が広がったと感じています。これから教育や研究活動を深めていき、学生とともに成長したいと思っています。

# Curriculum カリキュラム

専門看護師コースは、現在募集停止中です。

コース	専門必修	共通選択	専門科目		学位
			1年	2年	
研究コース	看護理論 看護倫理 看護研究法	全コース履修可 ○ コンサルテーション論 ○ 看護教育学 ○ 看護管理学 ○ 嗜癪行動学特論 ○ 哲学的人間学 ○ データ解析特論 ○ データ解析演習 ○ ヘルスプロモーション科学 ○ 英語文献講読特論 ○ 看護政策論 ○ Advanced生理学・病態生理学 ○ Advancedフィジカルアセスメント ○ Advanced臨床薬理学 ○ ウイメンズヘルス特論* ○ ウイメンズヘルス演習* * 助産実践形成コース必修科目	看護教育学特論 看護教育学演習	基盤看護学特別研究(1~2年)	修士(看護学)
			基礎看護学特論 基礎看護学演習		
			看護心理学特論 看護心理学演習		
			実験看護学特論 実験看護学演習		
			思春期ヘルスプロモーション特論 思春期ヘルスプロモーション演習	ヘルスプロモーション看護学特別研究(1~2年)	
			地域看護学特論 地域看護学演習		
			在宅看護学特論 在宅看護学演習		
			成人看護学特論 成人看護学演習	臨床看護学特別研究(1~2年)	
			老年看護学特論 老年看護学演習		
			精神看護学特論 精神看護学演習		
小児看護学特論 小児看護学演習					
助産学特論 助産学演習	助産学 特別研究(1~2年)				
助産学特論 助産学演習 基礎助産学特論 基礎助産学演習 コミュニティ助産学特論 コミュニティ助産学演習 ホリスティック助産学特論 ホリスティック助産学演習 助産実践学I 助産実践学II 助産実践学III 助産実践学IV 助産学実習I 助産学実習II	助産学課題研究(1~2年) マネジメント助産学特論 助産学実習III 助産学実習IV 助産学実習V				

## 学生支援体制

学務部に学生支援担当教員を配置し、大学院生の相談等に対応できる体制を整えています。個別対応はもちろん、各学年から選出された代表学生を通じて、学年全体への対応も行えるようにしています。また、看護学研究科専用の院生室も整備しています。院生室には院生専用の机とロッカーがあり、無線LANによるネットワーク環境も整えています。このような体制のもと、院生は安心して学習に取り組むことができ、充実した院生生活を送っています。さらに修了後にも、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指したネットワークづくりを行っています。

### 1 在学中の支援

- 院生室に、院生専用の机、ロッカー、無線LANによるネットワーク環境を整えています。
- 学生相談窓口として、各学年の代表学生1名が担当しています。また、大学院担当(学務部会)の教員の中から3名が学生支援担当者として学生に関わっています。
- 国内学会参加費補助制度があります。

### 2 修了後の支援

- FPUMN<sup>2</sup>  
(福岡県立大学大学院看護学研究科ネットワーク)  
代表: 増満 誠  
研究コース(精神看護学 2010年修了)  
当研究科の在学・修了生による知的・実践的なネットワークで、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指します。また、専門看護師の資格取得支援、継続的実践能力の支援、修士論文の学会発表・投稿等の支援も行っています。

### 3 学費等

入学料	520,000円 (但し県内の者は 282,000円)
授業料	535,800円 (前期、後期で分納)
授業料の減免	経済的理由等により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀と認められる場合に授業料の全額(または半額)を免除する制度があります。

詳細は、掲示コーナーでお知らせします。

### 4 奨学金

日本学生支援機構、本学及びその他(地方公共団体・民間団体・病院等)の奨学金があります。

実施主体	内 容	備 考
日本学生支援機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第一種(無利子貸与) 月額5万円、8万8千円から選択</li> <li>■ 第二種(有利子貸与) 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択</li> </ul>	4月上旬に説明会を開催しますので、希望者は必ず出席してください。
福岡県立大学	学費負担者の被災や病気等により修学を継続することが困難な学生に対し、貸与総額60万円を越えない範囲で貸与します。	自然災害等の特別な事情がある場合を除き、採用は原則毎年度1名となります。

その他の奨学金については、掲示コーナーでお知らせします。

## その他(学位取得者、入試日程、学年暦、実習施設の情報)

### 1 学生情報

- 学位取得者 修士(看護学) 計113名
- 在学生 計19名

### 2 募集人員及び入試日程

募集人員	事前協議締切日※	出願期間	試験日	合格発表	入学手続き期間
3コース計12人 [うち、助産実践形成コースの定員5人] <small>専門看護師コースは、現在募集停止中です。</small>	2022(令和4)年 8月19日(金)	2022(令和4)年 9月27日(火)から 2022(令和4)年 10月4日(火)まで	2022(令和4)年 10月15日(土)	2022(令和4)年 10月21日(金)	2022(令和4)年 10月22日(土)から 2022(令和4)年 11月1日(火)まで

※出願資格の【注意】参照

### 3 学年暦(例)

2022(令和4)年度

入学式・オリエンテーション	4月 4日(月)	修士論文提出期限	12月 2日(金) (助産実践形成コース)
「研究指導教員届」提出期限	4月15日(金)		1月12日(木) (研究コース)
研究計画発表会	9月21日(水)	修士論文口述試験	12月19日(月)~23日(金) (助産実践形成コース)
「研究計画書」、 「修士論文題目届」提出期限	10月14日(金)		1月下旬~2月初旬 (研究コース)
修士論文中間発表会	11月上旬~ 12月中旬	修士論文発表会	3月 1日(水)
		修士学位記授与式	3月16日(木)

### 4 実習施設

#### 助産実践形成コース

母子健康指導センター サンムラタ  
フラウエンハウス加来  
田川市立病院  
有松病院  
医療法人社団尚蘇会 エンゼル病院  
医療法人愛成会 東野産婦人科  
医療法人愛生会 馬渡産婦人科

助産院 町のさんばさん  
一般社団法人 北九州助産センター お産の家 よつ葉  
助産院 笑望  
独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院  
飯塚病院  
産業医科大学病院

本研究科の詳細は ホームページ <https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/> をご覧ください。

お問い合わせは 福岡県立大学アドミッション・オフィス  
TEL 0947-42-2118 〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395





## 公立大学法人 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395  
TEL 0947-42-2118 FAX 0947-42-6171



福岡県立大学 大学院 看護学研究科

<https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/>

### ACCESS

- JR**
  - 博多方面から  
博多駅→田川伊田駅(約1時間20分)徒歩約15分
  - 小倉方面から  
小倉駅→田川伊田駅(約1時間)徒歩約15分
- 平成筑豊鉄道**
  - 行橋方面から  
行橋駅→田川伊田駅(約50分)徒歩約15分
  - 直方方面から  
直方駅→下伊田駅(約30分)徒歩約10分
- 西鉄バス**
  - 福岡(天神)方面から  
西鉄天神高速バスターミナル→  
福岡県立大学(約1時間25分/構内乗入れ)  
[学生向け福岡都市圏+筑豊地区バス乗り放題定期券「筑豊エコルカード」\(1ヶ月17,300円\)が使えます。](#)
- 車**
  - 福岡市方面から  
国道201号(八木山バイパス経由)下伊田交差点で右折
  - 北九州方面から  
九州自動車道の八幡ICから本学まで約20分  
九州自動車道の小倉南ICから本学まで約30分
  - 大分方面から  
東九州自動車道の行橋ICから本学まで約25分

